平成22年度 財政状況資料集

総括表(市町村)

								指定团体等	デの指定状況	区分	平成22年度(千円)		区分	平成22年度(千円·%)	平成21年度(千円·%)
都	ß道府県名	析	木県	市町村	類型	$\Pi - 1$	-			_ 歳入総額	44, 552, 296	44, 817, 034	実質収支比率	7. 2	5. 9
								財政健全化等	×	歳出総額	42, 433, 868		経常収支比率	93.3	94. 2
_	市町村名	207 42	頁塩原市	····· ナ·☆ /-l	ᄯᄯᆂᆚ	1-3		財源超過	×	歳入歳出差引	2, 118, 428 195, 368	1, 845, 740	(※1) 標準財政規模	(97. 0) 26, 630, 566	(98.1)
I '	中叫刊石	加沙	1. 温尔印	地方交付	优性地	1-3		近畿	×	型年度に繰越すべき財源 実質収支	1, 923, 060		保存的以况候 財政力指数	20, 630, 366	25, 767, 970 0. 88
		22年国調(人)	117, 812					中部	×	■ 英東	403, 260		公債費負担比率	17. 0	18. 3
	人口		115, 032		産業構	構造		過疎	×		551, 233		健全化判断比率	17.0	10. 0
	Λu	17年国調(人)			17/-	· - = -	10年日刊				551, 255				
		増減率 (%)	2.4	区分				山振	0	操上償還金	1	576, 507		_	_
		23.03.31(人)	117, 337	第1	欠 ——	4, 851		低開発	0	積立金取崩し額		-	連結実質赤字比率		_
住民	基本台帳人口	22.03.31(人)	116, 739	2,21		8. 0		指数表選定	0	実質単年度収支	954, 493	1, 091, 914		11. 2	12. 8
		増減率 (%)	0. 5	第2	· ₇₇ 1	9, 388	21, 193			基準財政収入額	14, 554, 473		将来負担比率	25. 6	56. 4
面	ī積(km)		592. 82	第 4	^	31. 8	35. 4			基準財政需要額	18, 276, 785	18, 320, 757	資金不足比率(※3)		
人口容	密度(人/k㎡)		199	## O	3	86, 344	33, 399			標準税収入額等	18, 833, 572	20, 141, 952			
世帯	帯数 (世帯)		44, 602	第3	火	59. 6	55. 8				24, 212, 267	23, 659, 413			
				職員	<u> </u>	•			•	■ 歳入一般財源等	30, 813, 064	29, 663, 153			
		1.404	1人あたり平均				職員数	給料月額	1人あたり平均						
	区分	定数	給料月額(百円)		区分		(人)	(百円)	給料月額(百円)	地方債現在高	40, 782, 348	42, 758, 765			
 	ī区町村長	1	9, 600	1 _ 1:	一般職員		731	2, 410, 838	3, 298		18, 702, 762	19, 289, 998			
4.4	市区町村長	2	7, 550	血血	うち消防職員					- 債務負担行為額(支出予定額)	4, 647, 409	5, 509, 595			
보니 —	ス ス ス 入 役			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	うち技能労務		80	247, 120	3. 089	収益事業収入	-	_			
	有長	1	6, 850	員	教育公務員	122	12			土地開発基金現在高	302, 560	302, 337			
	会議長	1	4, 800	- h-h-	临時職員			, **2		- 財政調整其金	2, 289, 963	1, 738, 730			
	会副議長	1	3, 900		合計	- 	743	2, 457, 930	3, 308	┫ 積立金 ┃ _{減售甘夕}	1, 705, 976	1, 205, 118			
	会議員 (会議員	28			ュ <u>ロ</u> ラスパイレス指	数	7 40	2, 407, 300	101. 1	■ 現在高 ^{桃頃葢並} その他特定目的基金	4, 568, 771	4, 255, 976			
市	双	20	0, 000		ノハハコレス田	纵			101. 1	ての心特に自動を並	4, 300, 771	4, 200, 370			

一般会計等の一 項番	覧 会計名	事業会計の一覧 項番	公営企 会計名 項番	注業(法適)の一覧 会計名	公営企業(法非適) 項番	の一覧 会計名	関係する一部事務 項番	組合等一覧 組合等名	地方公社・第三1 項番	セクター等一覧 団体名
(1) 一般会計		(4) 国民健康保険特別会	計 (8) 3	那須塩原市水道事業会計	(9) 那須塩原市簡易	水道事業特別会計	(14) 那須地区広域	事務組合 (一般会計)	(27) 那須野が原	文化振興財団
(2) 公共用地先	·行取得事業特別会計	(5) 介護保険特別会計			(10) 那須塩原市下水	道事業特別会計	(15) 那須地区ふる	さと市町村圏基金特別会計	(28) まちづくり1	にしなすの
(3) 墓地事業特	排別会計	(6) 後期高齢者医療特別	会計		(11) 那須塩原市農業	集落排水事業特別会計	(16) 一般廃棄物最	終処分場事業特別会計	(29) 那須塩原市	農業公社
		(7) 老人保健特別会計			(12) 那須塩原市温泉	事業特別会計	(17) 広域クリーン	センター大田原事業特別会計	(30) 那須塩原市	施設振興公社
					(13) 那須塩原市土地	区画整理事業特別会計	(18) と畜場事業特	別会計		
							(19) 黒磯那須消防	組合		
							(20) 大田原地区広	域消防組合		

ター等一覧 団体名 (**※**2)

- (21) 黒磯那須共同火葬場組合
- (22) 黒磯那須公設地方卸売市場事務組合
- (23) 栃木県市町村総合事務組合(一般会計)
- (24) 栃木県市町村総合事務組合(特別会計)
- (25) 栃木県後期高齢者医療広域連合(一般会計)
- (26) 栃木県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)

- , ※1:経常収支比率の()内の数値は、「減収補塡債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。 ※2:地方公共団体が損失補塡等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に〇印を付与している。 ※3:資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。

⁽注釈)

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の					地方税の状況(単位 千円・%)							
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分				
地方税	18, 497, 693	41.5	17, 961, 302		普通税	17, 804, 307	96. 3	244, 734				
地方譲与税	485, 550	1. 1	485, 550	1. 9	法定普通税	17, 804, 307	96. 3	244, 734				
利子割交付金	41, 739	0. 1	41, 739	0. 2	市町村民税	6, 806, 316	36. 8	244, 734				
配当割交付金	18, 958	0.0	18, 958	0. 1	個人均等割	179, 976	1.0	_				
株式等譲渡所得割交付金	7, 340	0.0	7, 340	0.0	所得割	5, 174, 460	28. 0	-				
地方消費税交付金	1, 144, 300	2. 6	1, 144, 300	4. 6	法人均等割	438, 733	2. 4	57, 315				
ゴルフ場利用税交付金	53, 028	0. 1	53, 028	0. 2	法人税割	1, 013, 147	5. 5	187, 419				
特別地方消費税交付金	_	_	-	_	固定資産税	9, 877, 592	53. 4	_				
自動車取得税交付金	143, 928	0.3	143, 928	0.6	うち純固定資産税	9, 786, 087	52. 9	-				
軽油引取税交付金	_	_	-	_	軽自動車税	227, 208	1. 2	-				
地方特例交付金	199, 573	0. 4	199, 573	0.8	市町村たばこ税	893, 191	4. 8	-				
児童手当及び子ども手当特例交付金	89, 960	0. 2	89, 960	0. 4	鉱産税	-	-	-				
減収補塡特例交付金	109, 613	0. 2	109, 613	0. 4	特別土地保有税	-	-	-				
地方交付税	5, 603, 750	12. 6	4, 812, 898	19. 3	法定外普通税	_	_	_				
普通交付税	4, 812, 898	10.8	4, 812, 898	19. 3	目的税	693, 386	3. 7	_				
特別交付税	790, 852	1.8	-	_	法定目的税	693, 386	3. 7	-				
(一般財源計)	26, 195, 859	58.8	24, 868, 616	99. 7	入湯税	156, 995	0.8	_				
交通安全対策特別交付金	18, 250	0.0	18, 250	0. 1	事業所税			-				
分担金・負担金	146, 768	0. 3			都市計画税	536, 391	2. 9	-				
使用料	837, 417	1. 9	27, 981	0. 1	水利地益税等	_	_	-				
手数料	448, 308	1. 0	-	_	法定外目的税	_	_	_				
国庫支出金	6, 931, 052	15. 6	-		旧法による税		_					
国有提供交付金(特別区財調交付金)			-	_	<u>合計</u>	18, 497, 693	100.0	244, 734				
都道府県支出金	2, 779, 444	6. 2	-		区分	平成22年度		平成21年度				
財産収入	92, 098	0. 2	30, 565	0. 1	徴収率 現 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計	96. 8	84. 5	95. 9 84. 0				
寄附金	2, 760	0.0	_	_	┃ /0// 左・計 ┃巾町付氏祝	97. 4	88. 7	96. 0 88. 3				
繰入金	362, 554	0.8	_	_	(%) モニノ 純固定資産税	96. 3	81. 0	95. 4 80. 2				
繰越金	1, 845, 740	4. 1			1) 3V == 3W 6/5							
諸収入	2, 196, 246	4. 9	7, 021	0. 0	公営事業等への繰出		東保険事業会					
地方債	2, 695, 800	6. 1	_	_	合計 4,036,054			989, 617				
うち減収補塡債(特例分)	-	-	_	_	下水道		`	906, 839				
うち臨時財政対策債	1, 000, 000	2. 2	-	-	上水道 74,511	加入世帯数(世帯)	19, 635				
歳入合計	44, 552, 296	100.0	24, 952, 433	100.0	と畜場 27, 275	被保険者数(人)	CTV (drd \ dm =	37, 383				
					宝田造成 24, 462	│被保険者 ∫ 保険	₹税(料)収入額					
					国民健康保険 730, 441		支出金	84				
() \$\ \figs (\text{in })					その他 1,659,867		給付費	202				
(注釈)												

(注釈)	

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況(単位 千円・%)								
	目的別歳と	出の状況	(単位 千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建	設事業費	(A)のうち充	当一般財源等		
議会費	276, 222	0. 7		_		276, 222		
総務費	6, 198, 085	14. 6		589, 523		5, 163, 400		
民生費	11, 556, 958	27. 2		234, 394		5, 806, 144		
衛生費	2, 814, 011	6.6		123, 182		2, 109, 667		
労働費	242, 854	0.6		12, 727		63, 038		
農林水産業費	1, 523, 548	3. 6		672, 290		856, 104		
商工費	1, 688, 196	4. 0		28, 468		430, 773		
土木費	4, 829, 923	11. 4	2	2, 346, 010		3, 286, 727		
消防費	1, 736, 312	4. 1	_	105, 821		1, 725, 939		
教育費	6, 234, 550	14. 7	1	, 993, 339		3, 722, 330		
災害復旧費	15, 247	0. 0	·	-		10, 212		
公債費	5, 317, 962	12. 5		_		5, 244, 080		
諸支出費	-	-		_		-		
前年度繰上充用金	_	_		_		_		
歳出合計	42, 433, 868	100.0	6	5, 105, 754		28, 694, 636		
	性質別歳と	出の状況	(単位 千円・%)	7, 100, 701		20, 00 1, 000		
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充	当一般財源等	経常収支比率		
義務的経費計	19, 283, 564	45. 4	14, 036, 596		13, 901, 016	53. 6		
人件費	6, 624, 635	15. 6	6, 073, 839		5, 989, 622	23. 1		
うち職員給	4, 220, 636	9. 9	3, 747, 232		_	_		
扶助費	7, 340, 967	17. 3	2, 718, 677		2, 667, 314	10. 3		
公債費	5, 317, 962	12. 5	5, 244, 080		5, 244, 080	20. 2		
内 元利償還金	5, 316, 531	12. 5	5, 242, 649		5, 242, 649	20. 2		
訳一時借入金利子	1, 431	0.0	1, 431		1, 431	0. 0		
その他の経費	17, 029, 303	40. 1	13, 176, 464		10, 311, 251	39. 7		
物件費	5, 842, 027	13. 8	3, 887, 110		3, 549, 878	13. 7		
維持補修費	573, 571	1. 4	500, 601		264, 904	1.0		
補助費等	3, 878, 896	9. 1	3, 631, 632		3, 320, 499	12. 8		
うち一部事務組合負担金	1, 746, 530	4. 1	1, 746, 530		1, 738, 290	6. 7		
繰出金	3, 961, 543	9. 3	3, 570, 811		3, 175, 970	12. 2		
積立金	1, 623, 216	3. 8	1, 581, 260		-	-		
投資・出資金・貸付金	1, 150, 050	2. 7	5, 050		_	_		
前年度繰上充用金	-		-					
投資的経費計	6, 121, 001	14. 4	1, 481, 576					
うち人件費	134, 982	0. 3	134, 471					
普通建設事業費	6, 105, 754	14. 4	1, 471, 364					
. うち補助	3, 359, 658	7. 9	90, 603					
┃/ウ┃ ≒た畄油 ┃	2, 701, 244	6. 4	1, 378, 409					
訳 プラギュ 災害復旧事業費	15, 247	0. 4	10, 212					
大百 次 日 以 日 以 以 以 以 以 以 以 以 以 以	10, 277	5.0	10, 212					
ニース スパス サネ貝 歳出合計	42, 433, 868	100.0	28, 694, 636					
MX III II II I	72, 700, 000	100.0	20, 004, 000					

当該団体からの 債務保証に係る 債務残高 当該団体からの 損失補償に係る 債務残高

当該団体からの 出資金

純資産又は 正味財産

当該団体からの 補助金 当該団体からの 貸付金

栃木県那須塩原市 平成22年度

一般会計等 負担見込額

	会計名 Company Company 会計名 Company Company Comp	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの 繰入金	地方債 現在高	備考
1	一般会計	44, 541	42, 423	2, 118	1, 922	363	40, 743	
2	公共用地先行取得事業特別会計	23	23	-	-	23	37	
3	墓地事業特別会計	29	28	1	1	3	2	
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
計	一般会計等	44, 593	42, 474	2, 119	1, 923		40, 779	

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの 繰入金	企業債(地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足比率	備考
国民健康保険特別会計	12, 904	11, 914	990	990	730		_	-	
介護保険特別会計	5, 631	5, 511	120	120	859	-	_	_	
後期高齢者医療特別会計	695	677	18	18	157		-	-	
老人保健特別会計	3	3	_	_	_	-	_	-	
那須塩原市水道事業会計	2, 432	2, 178	254	1, 667	73	9, 557	688	_	
那須塩原市簡易水道事業特別会計	_	-	_	_	_	-		_	
那須塩原市下水道事業特別会計	2, 993	2, 923	70	66	1, 448	19, 358	15, 002	-	
那須塩原市農業集落排水事業特別会計	99	94	5	5	71	940	863	_	
那須塩原市温泉事業特別会計	117	108	9	4	_	_	_	_	
那須塩原市土地区画整理事業特別会計	167	167	_		24	416	153	_	

I									
***************************************				***************************************	***************************************				
						December of the second of the			

				***************************************	*************************************				

3									
+									
i									
3									
				***************************************	N 20 11 20 11 20 11 20 20 11 2				
					M. O. H. O. D. H. O. D. H. O. D. H. O. D. H. O. H. O. H. O. H. O. D. H. O. H. O. D. H. O. D. H. O. D. H. O. D.				

係する一部事務組合等の財政状況	(単位:百万円)	
		ı

関化	系する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)								
	一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの 繰入金	企業債(地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1	那須地区広域事務組合(一般会計)	524	468	56	52	-	38	17	
2	那須地区ふるさと市町村圏基金特別会計	19	18	1	1	_	_	_	
3	一般廃棄物最終処分場事業特別会計	232	227	5	5	_	144	48	
4	広域クリーンセンター大田原事業特別会計	1, 388	1, 236	152	152	_	3, 340	_	
5	と畜場事業特別会計	93	88	5	5	_	88	47	
6	黒磯那須消防組合	1, 316	1, 286	30	30	_	346	-	
7	大田原地区広域消防組合	1, 620	1, 585	35	25	11	309	_	
8	黒磯那須共同火葬場組合	52	47	5	5	-	_	_	
9	黒磯那須公設地方卸売市場事務組合	22	20	2	2	-	_	_	
10	栃木県市町村総合事務組合(一般会計)	14, 722	14, 639	83	83	2, 105	_	_	
11	栃木県市町村総合事務組合(特別会計)	39	37	2	2	16	_	_	
12	栃木県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	2, 404	2, 391	13	13	1, 134	_	-	
13	栃木県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	167, 728	166, 009	1, 719	1, 719	2, 334	_	-	
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
計	一部事務組合等				270		4, 244	112	

13. 0

13. 9

11. 2

12. 8

9. 7

11. 2

(単年度)

(3ヵ年平均)

	66							
	67							
	68							
	69						***************************************	
	70							
	71							
連結実質赤字額	72							
-	73							
	74							
	75							
	76					***************************************		***************************************
	77							
	78							
	79							
	80			***************************************		***************************************	***************************************	
	81		•		•	•		
	82				***************************************			
	83							
	84		***************************************	***************************************	***************************************	***************************************	***************************************	
	85							
	86							
	87							
	88		***************************************	***************************************				
	89							
	90							
	91							
	92							
	93							
	94							
	95							
	96							***************************************
	97							
		方公社・第三セクター等 地方の共団体が損失補損等を行っている出答法して、 <i>随</i> 会((1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	7.	148	213	-	_

_地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名

那須野が原文化振興財団

まちづくりにしなすの

那須塩原市施設振興公社

那須塩原市農業公社

公債費負担の状況 (千円・%)						将来負担の状況	(千円・%)											
実質公債費比	と率 (千円・	%)										将来負担比率	(千円・%)					
区分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	分母比		区分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	分母比		内訳	平成20年度	平成21年度	平成22年度	分母比
元利償還金		4, 819, 368	4, 955, 943	5, 316, 531	23. 9	将来負担額	一般会計等に係る地方債の現在高		42, 593, 077	42, 758, 765	40, 782, 348	183. 2	PFI事業	に係るもの	-	_	-	
満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	_	-	-	債務負担行為に基づく支出予定額		584, 505	346, 979	171, 637	0.8	いわゆる	五省協定等に係るもの	-	_	-	
準 公営企業債の元利償還金□対する繰入金		1, 596, 057	1, 612, 251	1, 455, 153	6. 5		公営企業債等繰入見込額		19, 081, 566	17, 582, 531	16, 705, 521	75. 0	国営土地	改良事業に係るもの	504, 055	297, 867	148, 609	0.7
利 組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		145, 813	130, 444	132, 070	0. 6		組合等負担等見込額		622, 171	540, 228	441, 730	2.0	· 森林総合	研究所等が行う事業に係るもの	-	_	-	
環		253, 522	253, 479	175, 342	0.8		退職手当負担見込額		5, 349, 204	5, 281, 960	5, 243, 240	23. 6	務地方公務	員等共済組合に係るもの	-	_	-	
一時借入金の利子		-	-	-	-	-	設立法人等の負債額等負担見込額		_	1, 711	597	0.0	担依頼土地	の買い戻しに係るもの	-	_	-	
- 승計	(ア)	6, 814, 760	6, 952, 117	7, 079, 096		1	連結実質赤字額			_	-	_	為 社会福祉	法人の施設建設費に係るもの	-	_	-	
内訳		平成20年度	平成21年度	平成22年度	分母比	1	組合等連結実質赤字額負担見込額			_	-	_	損失補償	・債務保証の履行に係るもの	-	_	-	-
PFI事業に係るもの		_	-	-	-	-	合計	(エ)	68, 230, 523	66, 512, 174	63, 345, 073		引き受け	た債務の履行に係るもの	-	_	-	
いわゆる五省協定等に係るもの		-	-	-	-	充当可能財源等	充当可能基金		6, 894, 335	6, 254, 585	8, 000, 471	35. 9	その他上	記に準ずるもの	80, 450	49, 112	23, 028	0.1
国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの		206, 841	206, 841	148, 607	0.7		充当可能特定歳入		4, 257, 573	4, 202, 070	4, 491, 942	20. 2	•	那須塩原市下水道事業特別会計	16, 874, 123	15, 841, 917	15, 002, 183	67. 4
債 ・ 地方公務員等共済組合に係るもの		-	-	-	-	-	基準財政需要額算入見込額		42, 776, 826	43, 747, 490	45, 133, 205	202. 8		那須塩原市農業集落排水事業特別会計	858, 374	860, 278	862, 724	3.9
負 社会福祉法人の施設建設費に係るもの		-	-	-	-	-	合計	(才)	53, 928, 734	54, 204, 145	57, 625, 618		企業債等 繰入見込額	那須塩原市水道事業会計	528, 275	608, 964	688, 105	3. 1
行		-	-	-	-	- 将来負担比率((コ	エ)ー(オ))/((イ)ー(ウ))×100		66. 2	56. 4	25. 6			那須塩原市土地区画整理事業特別会計	709, 218	271, 372	152, 509	0.7
引き受けた債務の履行に係るもの		-	-	-	-						•			その他の会計	111, 576	_	-	-
その他上記に準ずるもの		31, 338	31, 338	26, 084	0.1									地方道路公社に係る将来負担額	-	-	_	
利子補給に係るもの		15, 343	15, 300	651	0.0								公社・ 三セク等	土地開発公社に係る将来負担額	-	_	-	-
標準財政規模	(イ)	25, 588, 484	25, 767, 970	26, 630, 566		1							_, _	その他第三セクター等に係る将来負担額	-	1, 711	597	0.0
算入公債費等の額	(ウ)	4, 001, 591	3, 977, 458	4, 371, 040														
分母	(イ)ー(ウ)	21, 586, 893	21, 790, 512	22, 259, 526														

健全化判断比率	平成22年度(再掲)	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	_	11. 98	20.
連結実質赤字比率	-	16. 98	35.
実質公債費比率	11. 2	25. 0	35
将来負担比率	25. 6	350. 0	

実質公債費比率 ((ア)-(ウ))/((イ)-(ウ))×100

※平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は積立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。 ※実質公債費比率の((ア)-(ウ))は特定財源の額を控除している。

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

117, 337 人(H23, 3, 31現在) 592.82 k m² 44,552,296 千円 11.2 % 42, 433, 868 千円 25.6 % 1,923,060 千円 H18 III - 1 H19 III - 1 H20 III - 126,630,566 千円 $\mathbf{II} - 1$ H22 $\mathbf{II} - 1$ 地方債現在高 40, 782, 348 千円

◆ 当該団体値 ◆ 類似団体内平均値 類似団体内の 最大値及び最小値

100.0

200.0

300.0

400.0

5.0

10.0

15.0

20.0

25.0

H18

H19

H19

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。

※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

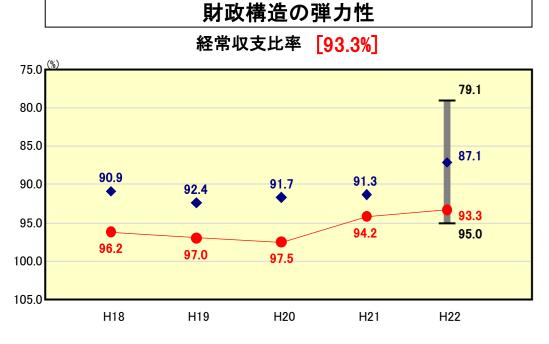
財政力 財政力指数 [0.85] 1.42 1.20 1.00 0.80 0.68 0.73 0.72 0.71 0.60 0.40 0.43 H18 H19 H20 H21 H22

類似団体内順位 全国平均 栃木県平均 0.53 8/42 0.75

財政力指数の分析欄

類似団体平均と比較すると0.17ポイント上回っている。

これは、近年大規模商業施設がオープンしたことや、大型事業所(製造業) が所在することで、基準財政収入額の内、法人市民税や固定資産税の算入 額が類似団体に比べて大きいことによる。





経常収支比率の分析欄

類似団体平均と比較すると6.2ポイント上回っている。

要因として、合併特例債の発行に伴う公債費の増やし尿処理や消防業務等 を行う一部事務組合への負担金が、類似団体に比べ多額となっていること が挙げられる。

その他、扶助費の増加も要因となり、今後、資格審査等の適正化により抑制

また、人件費についても定員適性化計画に基づく職員数削減を行うとともに、 物件費などの固定経費の圧縮に計画的に取り組み、経常経費の削減に努

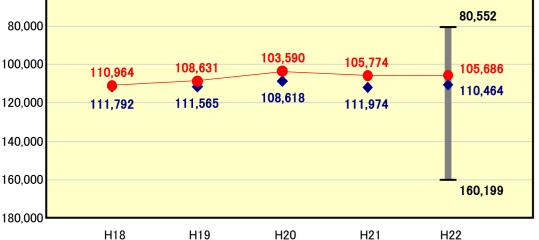


105,774 105,686

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額「105.686円]

60,000 (円)

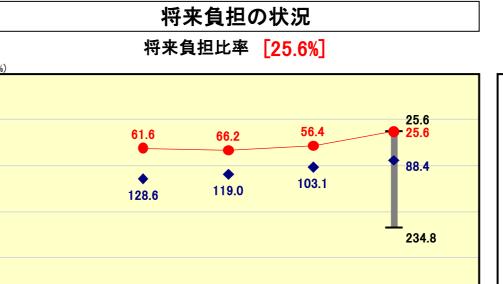


人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

類似団体と比較して、1人当たりの人件費・物件費等が下回っているのは、 主に人件費を要因としており、主なものとして、公立保育園の民営化(1園) による人件費減及び定員適正化計画に基づく職員数の削減(平成17年か ら23年で116人)などが挙げられる。今後も、施設の民営化(保育園は4園 を予定)や定員適正化を更に推進していく。

平成22年度

栃木県那須塩原市



H20

H21

13.7

H21

H22

11.2

12.9

21.3

H22



全国平均 79.7

栃木県平均 43.7

将来負担比率の分析欄

類似団体平均を大きく(62.8ポイント)下回っている。

主な要因として、義務教育施設整備事業などの償還終了や臨時財政対策 債、合併特例債発行額の抑制による地方債現在高の減によるものなどが挙

また、財政調整基金、減債基金等の積立てによる充当可能財源の増による ものも大きな要因のひとつである。

今後も地方債残高の圧縮など財政の健全化に努める。

公債費負担の状況 全国平均 類似団体内順位 栃木県平均 実質公債費比率 [11.2%] 15/42 10.5

実質公債費比率の分析欄

合併特例債による元利償還金が増加しているものの、平成3年度義務教育 施設整備事業債等の償還が終了したため、総額では一昨年度の平成20年 度水準を下回っている。

その上、財政措置の手厚い合併特例債を活用していることで基準財政需要 額が増加しているため、実質公債費比率が減少している。

今後も、合併特例債を有効に活用するとともに、臨時財政対策債の発行を 最小限に留める等しながら、地方債残高の圧縮に努めていく。

定員管理の状況 類似団体内順位 全国平均 栃木県平均 9/42 7.24 6.97



H20

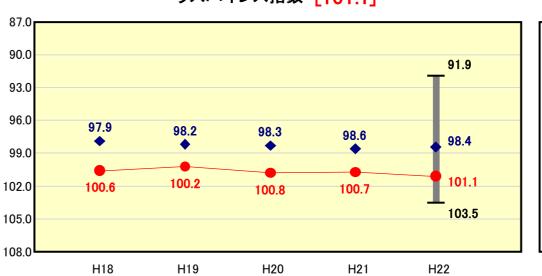
人口千人当たり職員数の分析欄

類似団体平均と比較して0.89ポイント低くなっている。

第1次定員適正化計画(H17.4.1~H23.4.1)では90人削減を目標としており、 22年度で80人の削減を達成している。

平成24年3月に第2次定員適正化計画を策定し、更なる人員削減に努める。

給与水準 (国との比較) 類似団体内順位 全国市平均 ラスパイレス指数 [101.1] 39/42 98.8



ラスパイレス指数の分析欄

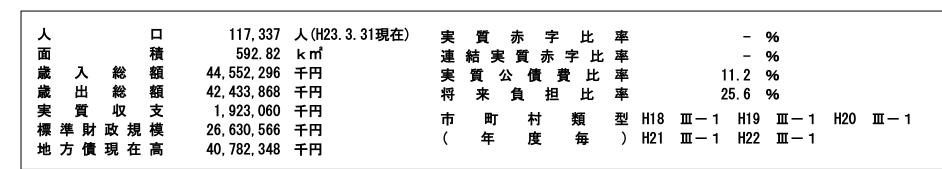
給与体系の見直しが遅れ、類似団体平均を2.7ポイント上回っている。 要因としては、4級昇給への必要在級年数の短縮が挙げられる。

今後は現給補償の廃止(平成25年度予定)等を予定しているほか、時間外 勤務の削減など人件費の縮減に努める。

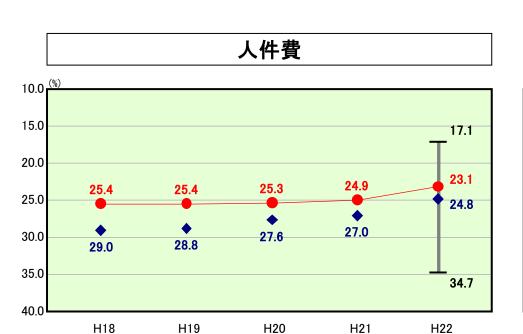
全国町村平均

95.3

経常収支比率の分析



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



類似団体内順位 全国平均 12/42

人件費の分析欄

類似団体平均と比較すると1.7ポイント下回っている。しかし、し尿 処理や消防業務を一部事務組合で行っていることで他に比べ人件 費が少ない上、第1次定員適正化計画を早々に達成したにも関わ らず、類似団体との差が年々縮まっており更なる抑制策が必要と なっている。

25.1

このため、平成24年3月に第2次定員適正化計画を策定し、平成28 年度までの人員6%(50人)削減に加え、職員一人一人の質の向上 に取り組み、「精鋭集団」を目指し努力している。



類似団体内順位

32/42

全国平均

栃木県平均

栃木県平均

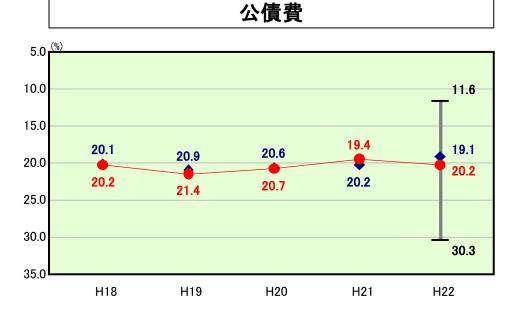
栃木県平均

26.9

▼ 類似団体内の

扶助費の分析欄

類似団体平均と比較すると1.2ポイント上回っている。これは、子ど も手当制度の拡充や生活保護受給者の増加に伴うところが非常に 大きい。しかしこれらは全国的な要因でありながら、近年は類似団 体との差が大きくなりつつあるため、資格審査等の適正化を図ると ともに、市独自の扶助的事業の見直しを行うことで扶助費総額の 抑制に努めたい。



公債費の分析欄

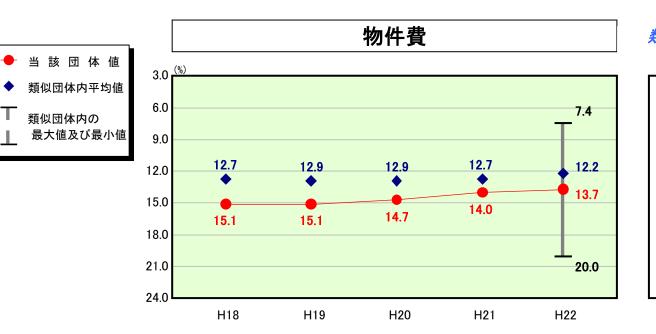
類似団体内順位

27/42

類似団体平均と比較すると1.1ポイント上回っている。これは平成20 年度に実施した第2期ごみ処理施設整備事業に係る合併特例債の 元金償還が始まったことなどにより、合併特例債が711,785千円の 増となったことが大きな要因である。今後も有利な地方債である合 併特例債及び地方交付税の代替である臨時財政対策債を中心に 借入を予定しているが、市債残高の抑制に努めるよう細心の注意 を払いながら健全な財政運営を心掛けていく。

全国平均

19.0



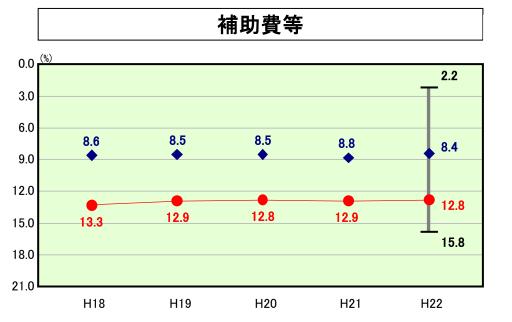
類似団体内順位

全国平均

栃木県平均 14.0

物件費の分析欄

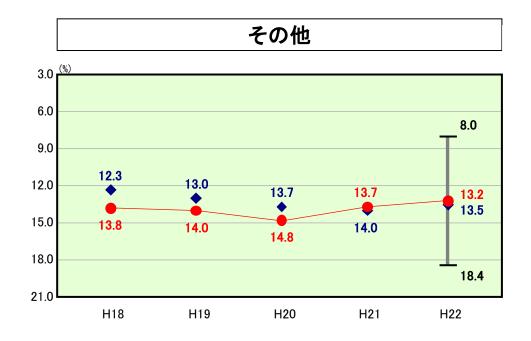
類似団体平均と比較すると1.5ポイント上回っている。しかし、業務 の民間委託化を推進し、人件費等から物件費へのシフトが起こって いるにも拘らず、類似団体との差が年々縮まってきている。これは 予算の枠配分などにより予算編成段階で物件費の総額抑制に努 力したところが大きいと思われる。今後、人件費から物件費へのシ フトが落ち着きを見せると比率の改善が滞ることがも予想されるが、 人件費・物件費総額での抑制に努めていく。



類似団体内順位 35/42 全国平均 10.1 栃木県平均 10.5

補助費等の分析欄

類似団体平均と比較すると4.4ポイント上回っている。これは、市が 出資する各種団体への運営補助や一部事務組合への負担金が補 助費等全体の半数以上を占めているためである。中でも、本市で はし尿処理や消防業務、火葬場の運営などを一部事務組合で行っ ており、これら一部事務組合に対する負担金が全体の40%にもな るため、類似団体と比べると、相当な差が生じてしまう。しかしなが ら、平成21年度に市単独補助金等審査会を設置し、3年かけて全て の補助金を見直すなどわずかでも経費削減できるよう努力している。



類似団体内順位

全国平均

栃木県平均 12.5

その他の分析欄

類似団体平均と比較すると0.3ポイント下回っている。前年度との比 較においても0.5ポイント低くなっているが、下水道事業特別会計へ の繰出金が、下水道事業に係る公債費の減により△166,294千円と なったことが大きな要因である。今後も独立採算の原則に立ち返っ た料金体系の見直し等により経営の健全化を図っていくとともに、 一般会計からの繰り入れを極力抑制するよう努力していく。



類似団体内順位

全国平均

栃木県平均 72.9

公債費以外の分析欄

類似団体平均と比較すると5.1ポイント上回っている。中でも、補助 費等に係る比率の差が大きく、各事業の運営形態からやむを得な い部分も考慮できるが、人件費・物件費も含めた総額での抑制によ り一層の努力をする必要があると思われる。

8, 099, 269

69, 026

72, 525

▲ 4.8

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

人件費及び人件費に準ずる費用の分析 人口1人当たり決算額の推移 ● 当該団体値 (円) 類似団体内平均値 110,000 類似団体内の 96,787 100,000 ___ 最大値及び最小値 90,000 76,987 75.844 80,000 73,904 73,769 72,525 75,660 70,000 74,396 72,825 69,026 69,358 60,000 50,000 53,445 40,000 H18 H19 H20 H21 H22

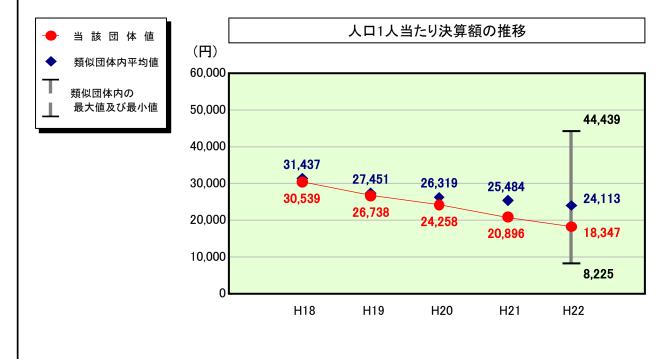
人件費及び人件費に準ずる費用 人口1人当たり決算額 当該団体(円) 類似団体平均(円) 対比(%) 当該団体決算額 (千円) 人件費 6, 624, 635 56, 458 67, 327 **▲** 16.1 賃金(物件費) 547, 129 4, 663 3, 793 22. 9 一部事務組合負担金(補助費等) 1, 293, 725 11, 026 4, 624 138. 5 公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等) 公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金) 公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金) 事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費) 1, 467 1, 067 **▲** 98.8 271, 62 2, 315 **▲** 15.9 1, 150 1, 409 134, 982 **▲** 18.4 **▲** 774, 291 **▲** 6, 599 **8**, 448 **▲** 21.9 ▲退職金

参考

合計

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	6. 33	7. 22	▲ 0.89
ラスパイレス指数	101. 1	98. 4	2. 7

公債費及び公債費に準ずる費用の分析



	公債費及び公債費に準ずる費用	(実質公債費比率の構成要素)
--	----------------	----------------

	当該団体決算額	人口1人当たり決算額		
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額	5, 316, 531	45, 310	48, 035	▲ 5.7
(繰上償還額等を除く)	0, 010, 001	40, 010	40, 000	4 0. 7
積立不足額を考慮して算定した額	_	1	_	_
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの	_		94	_
(年度割相当額)			34	
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	1, 455, 153	12, 401	12, 436	▲ 0.3
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負	132, 070	1, 126	2, 140	▲ 47.4
担金に充当する一般財源等額	132, 070	1, 120	2, 140	4 7.4
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する	175, 342	1, 494	1, 858	▲ 19.6
一般財源等額	170, 342	1, 494	1, 000	▲ 19. 0
一時借入金利子			21	
(同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	_	1	۷۱	_
▲特定財源の額	▲ 555, 307	▲ 4, 733	▲ 5, 884	▲ 19.6
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として	4 , 371, 040	▲ 37, 252	▲ 34, 585	7 7
普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	4 , 371, 040	▲ 31, 232	▲ 34, 363	7. 7
合計	2, 152, 749	18, 347	24, 113	▲ 23. 9

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析 人口1人当たり決算額の推移 (円) 62.000 60,000 58,000 56,000 54,000 52,000 50,000 48.000 46,000 44,000 H18 H19 H20 H21 H22 ── 当該団体値 ◆ 類似団体内平均値

普通建設事業費

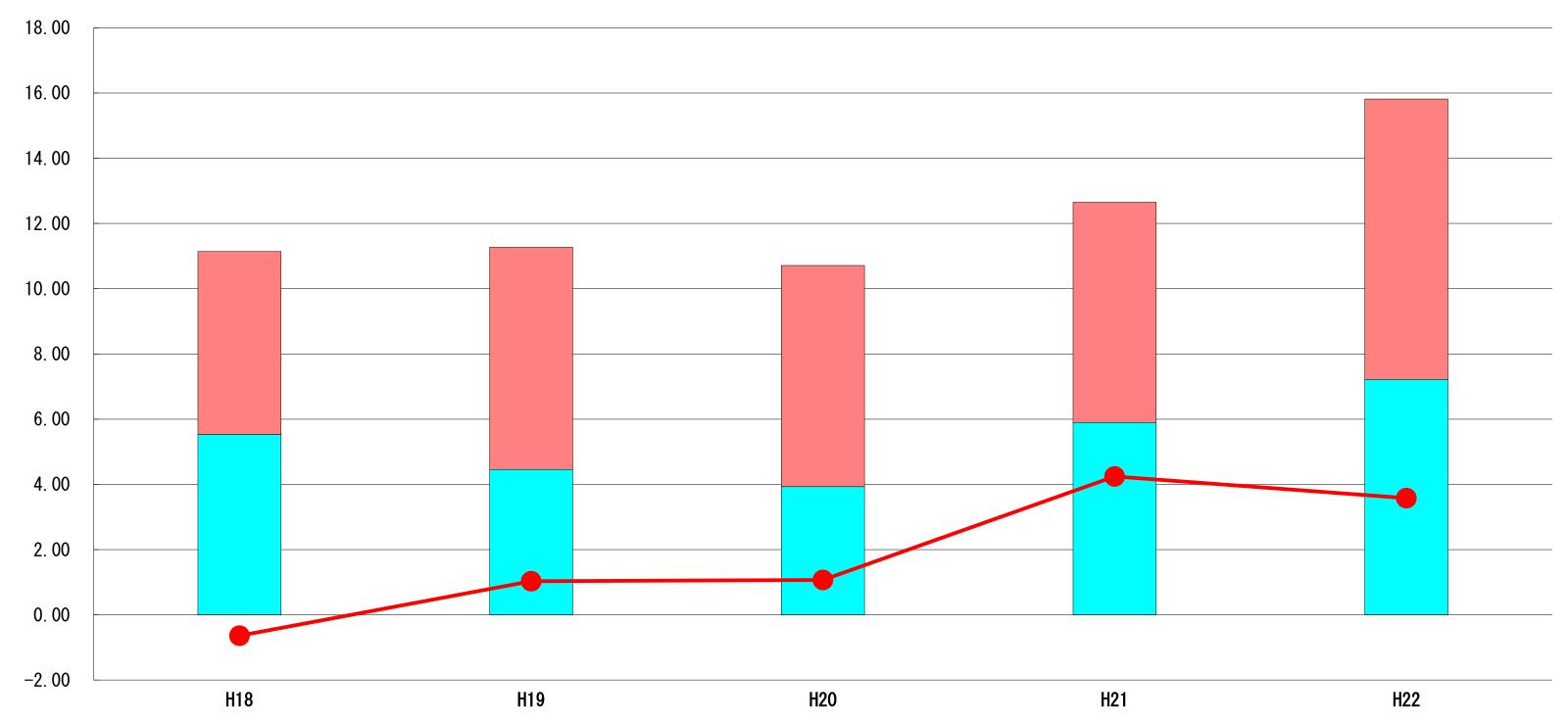
		当該団体決算額	人口1人当たり決算額					
		(千円)	当該団体(円)	増減率(%)(A)	類似団体平均(円)	増減率(%)(B)	(A) - (B)	
H18		6, 296, 538	54, 878	13. 5	52, 296	▲ 15. 7	29. 2	
	うち単独分	3, 439, 108	29, 974	4. 0	33, 281	▲ 17. 9	21. 9	
H19		6, 774, 027	58, 707	7. 0		▲ 5. 7	12. 7	
	うち単独分	3, 685, 360		6. 6	29, 329	▲ 11.9	18. 5	
H20		6, 734, 310		▲ 1.1	50, 068	1. 5	▲ 2.6	
	うち単独分	3, 724, 618	32, 117	0. 6	30, 080	2. 6	▲ 2.0	
H21		6, 718, 819	57, 554	▲ 0.9	53, 925	7. 7	▲ 8.6	
	うち単独分	3, 361, 222	28, 793	▲ 10.3	34, 260	13. 9	▲ 24. 2	
H22		6, 105, 754	52, 036	▲ 9.6	51, 263	▲ 4.9	▲ 4. 7	
	うち単独分	2, 701, 244	23, 021	▲ 20.0	29, 061	▲ 15. 2	▲ 4.8	
過去5年間平均		6, 525, 890	56, 249	1. 8	51, 377	▲ 3.4	5. 2	
	うち単独分	3, 382, 310	29, 169	▲ 3.8	31, 202	▲ 5. 7	1. 9	

(5) 実質収支比率等に係る経年分析(市町村)

平成22年度

栃木県那須塩原市

標準財政規模比(%)



標準財政規模比(%)

区分	H18	H19	H20	H21	H22
財政調整基金残高	5. 61	6. 81	6. 78	6. 75	8. 60
実質収支額	5. 53	4. 46	3. 93	5. 90	7. 22
一 実質単年度収支	▲ 0.64	1. 03	1. 07	4. 24	3. 58

分析場

近年、臨時的な国庫補助金等により、一般財源の抑制に伴う決算剰余金(繰越金)を財政調整基金や減債基金などに積み立てることができた。

しかし今後は、東日本大震災の復旧復興事業や放射能対策事業の激増に伴い、積立を 行うほどの余裕ができるとは考えにくい。

実質収支額は、臨時的な国庫補助金(経済危機対策臨時交付金、公共投資臨時交付金、 きめ細かな臨時交付金等)を活用することで一般財源の抑制が図られたため、H21、22に おいて増加しているが、今後は、東日本大震災の復旧復興事業や放射能対策事業など早 急に取り組むべき課題が山積しており、事業費の増高が見込まれるため減少傾向にある と思われる。

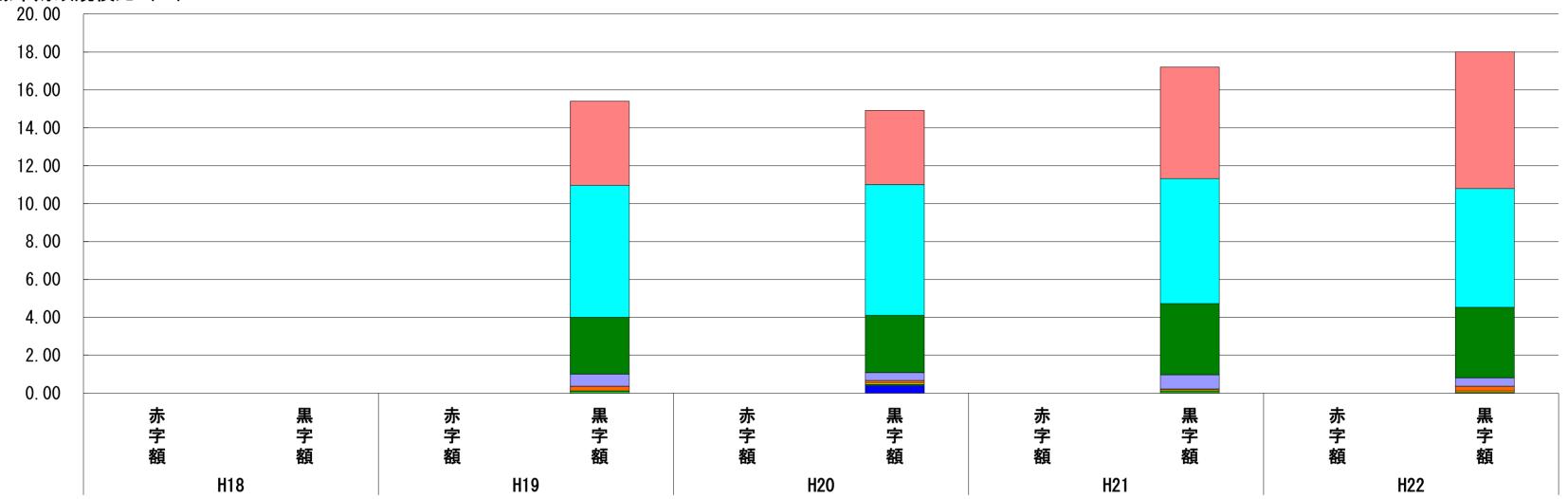
実質単年度収支は、H21までは増加傾向にあったが、H22については、H21からの繰越金

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析(市町村)

平成22年度

栃木県那須塩原市

標準財政規模比(%)



標準財政規模比(%)

年度 会計	H18	H19	H20	H21	H22
一般会計	_	4. 45	3. 91	5. 89	7. 22
那須塩原市水道事業会計	_	6. 96	6. 90	6. 59	6. 26
国民健康保険特別会計	_	3. 00	3. 02	3. 76	3. 72
介護保険特別会計	_	0. 64	0. 42	0. 75	0. 45
那須塩原市下水道事業特別会計	_	0. 25	0. 12	0. 06	0. 25
後期高齢者医療特別会計	_	-	0. 08	0. 06	0. 07
那須塩原市農業集落排水事業特別会計	_	0. 01	0. 01	0. 02	0. 02
那須塩原市温泉事業特別会計	_	0. 09	0. 06	0. 07	0. 02
その他会計(赤字)	_	-	-	_	_
その他会計(黒字)	_	0. 01	0. 40	0. 01	0. 00

分析欄

黒字額が年々増加傾向にあるのは、主に一般会計の黒字額が増加しているからである。

H20には大規模事業である第2期ごみ処理施設整備事業により多額の 一般財源を投入したため黒字額が一時低下した。H21、H22にかけて歳 入、歳出ともに減少しているが、歳出に比べ、歳入の減少幅が小さい ため連結赤字比率は増加している。

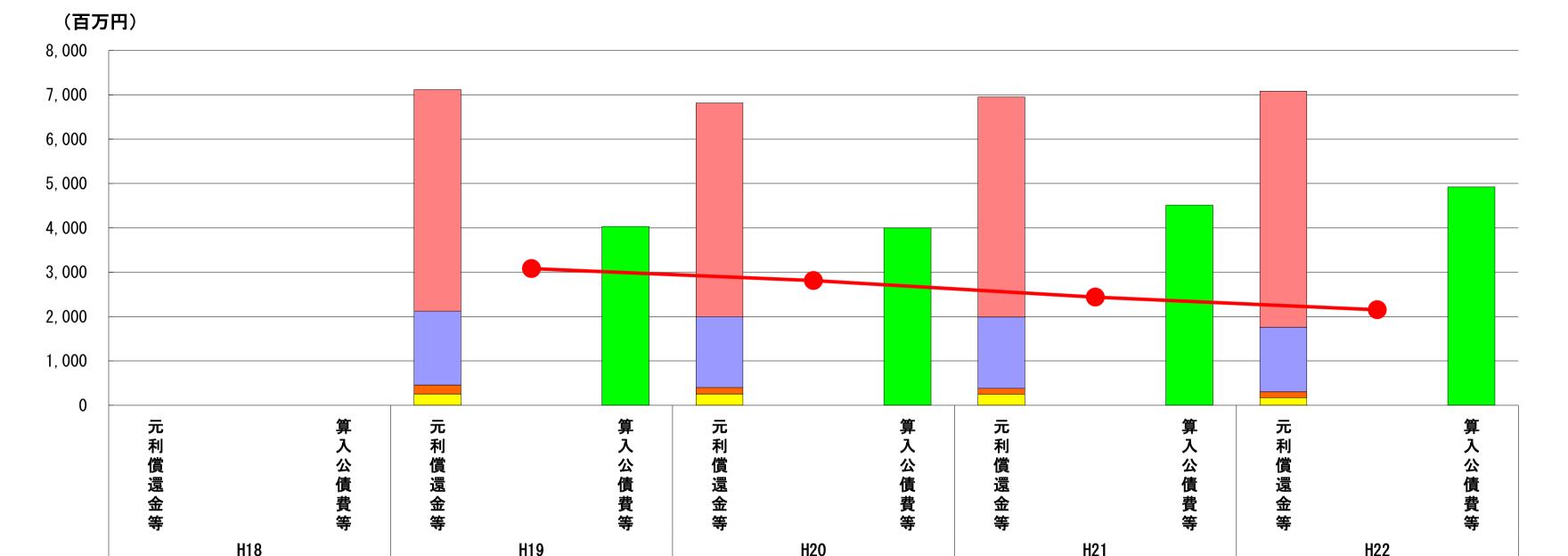
歳入の減少幅が低い理由としては、個人、法人市民税の減等の影響を普通交付税の増である程度カバーできていること(H21:+8.5億+7.6億)及び国庫補助金の増加(経済危機対策臨時交付金、公共投資臨時交付金等+13.2億)を活用し、一般財源の投入を抑制できたためである。

ただし、東日本大震災の復旧復興事業や放射能対策事業など早急に取り組むべき課題が山積しており、今後は事業費の増高が見込まれるため、黒字額は減少すると思われる。

(7) 実質公債費比率 (分子) の構造 (市町村)

平成22年度

栃木県那須塩原市



分子の構造	年度	H18	H19	H20	H21	H22
	元利償還金	I	4, 995	4, 819	4, 956	5, 317
	積立不足額考慮算定額	_	-	-	-	_
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	1	_	-	1	_
元利償還金等(A)	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	1	1, 665	1, 596	1, 612	1, 455
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	1	204	146	130	132
	債務負担行為に基づく支出額	-	254	254	253	175
	一時借入金利子	_	-	-	-	_
算入公債費等(B)	算入公債費等	_	4, 034	4, 002	4, 513	4, 926
(A) - (B)	━━ 実質公債費比率の分子	_	3, 084	2, 813	2, 438	2, 153

分析欄

(百万円)

元利償還金等が増加しているものの、算入公債 費等も同時に大きく増加していることにより、 年々、実質公債費比率(分子)が減少してい る。

元利償還金等増加の要因は、合併特例債による 償還が増えているためである。特にH22は、H20 の合併特例債(第2期ごみ処理施設整備事業 等)の償還開始(4.2億)による影響が大きい。 ただし、償還終了した事業債(義務教育施設整 備事業3億)もあり、市債全体の増加幅は比較的 小さい。

算入公債費等増加の要因は、合併特例債償還に

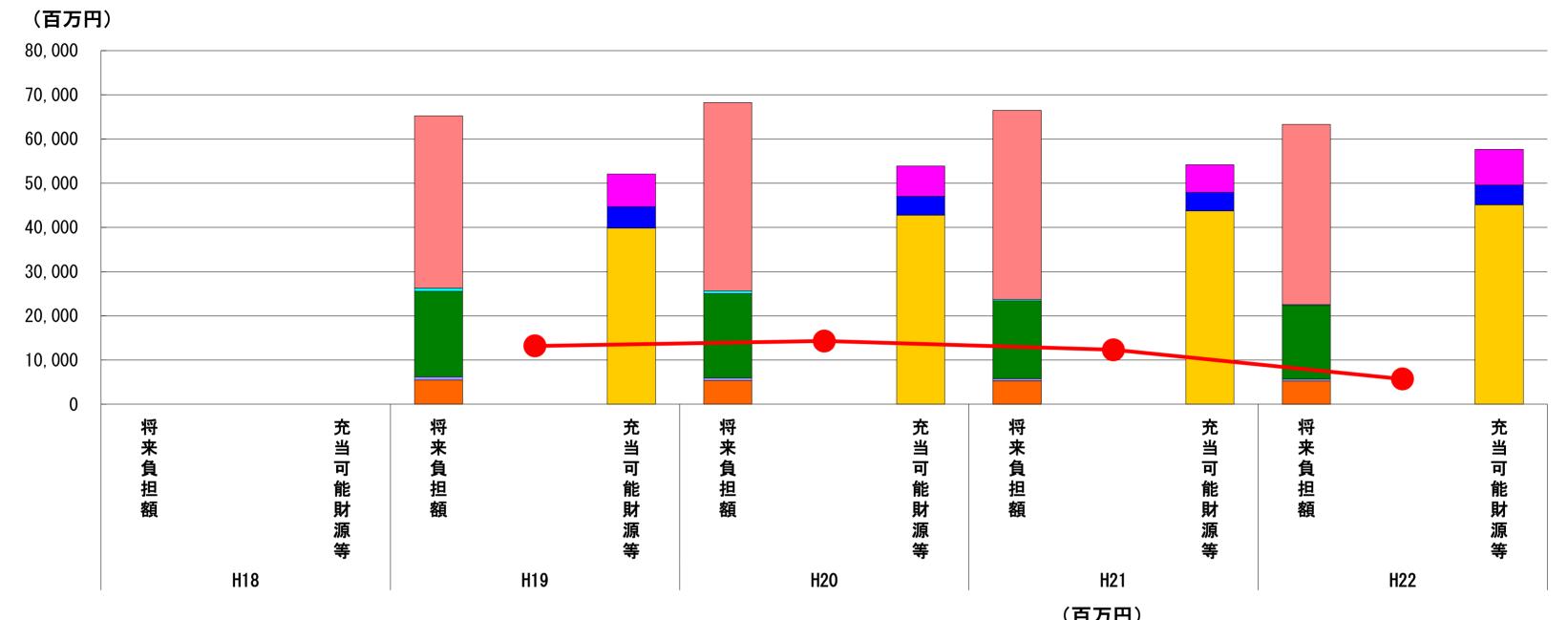
[※]平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は積立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。

[※]平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率 (分子) の構造 (市町村)

平成22年度

栃木県那須塩原市



						(日777)
分子の構造	年度	H18	H19	H20	H21	H22
	一般会計等に係る地方債の現在高	_	38, 978	42, 593	42, 759	40, 782
	債務負担行為に基づく支出予定額	_	745	585	347	172
	公営企業債等繰入見込額	_	19, 343	19, 082	17, 583	16, 706
顺	組合等負担等見込額	_	729	622	540	442
将来負担額(A) - -	退職手当負担見込額	_	5, 453	5, 349	5, 282	5, 243
	設立法人等の負債額等負担見込額	_	-	-	2	1
	連結実質赤字額	_	-	-	_	_
	組合等連結実質赤字額負担見込額	_	-	-	-	-
	充当可能基金	_	7, 354	6, 894	6, 255	8, 000
充当可能財源等(B)	充当可能特定歳入	_	4, 863	4, 258	4, 202	4, 492
	基準財政需要額算入見込額	-	39, 850	42, 777	43, 747	45, 133
(A) — (B)	―― 将来負担比率の分子	_	13, 182	14, 302	12, 308	5, 719

分析欄

将来負担比率の分子が減少している理由は、将来 負担額の減及び充当可能財源の増である。

将来負担額は、地方債の現在高がH20,21の第2期 ごみ処理施設整備事業の借入をピークに減少傾向 にあることで減少傾向にある。

企業債等繰入見込額についても、大規模事業によ る借入が見込まれないため、同様に減少傾向にあ る。

充当可能財源増の要因は、充当可能基金の増である。H22には、財政調整基金、減債基金及び新庁舎整備基金で合わせて15.5億の積立てを行ったため、大幅に増加している。

[※]平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。